

キャビちゃんのちょっといい話 Vol.1

H17.6.1発行
作成：スタッフ一同
監修・発行：かだ動物クリニック
tel 0944-56-7100
fax 0944-56-7107

ある犬の飼主さんは、昨年とても悲しい経験をしました。この時の事、この気持ちを伝え、二度とこのような事が無いようにという願いから、ペットを飼う皆さんへのお手紙を頂きました。

2004年11月...家にずーっと居た小さなかわいい犬“ワン子”が突然いなくなりました。ワン子は18歳のお婆ちゃん、目も見えないし耳も聞こえない...「かわいそうに」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、年をとってくと仕方の無い事で、でもワン子は天真爛漫で私の帰りをいつも(暑い日、寒い日、雨の降る日、365日)外で待ってるのは当たり前で、時にはストーカーではないかと思うくらい、私の行動を見破ってくれて!?ました。ワン子はとても利口で、私の事を一番にわかってきて、私もワン子の事はすべてわかって、わかり合っていると信じてました。が...それがあの日...。庭の中だけで放し飼い、絶対家族がいなくて外にも出ないし、目も耳も不自由なので外には出て行かないと過信していたのです。...携帯が鳴って「ワン子が車にはねられた!ダメかもしれない...急いで病院に連れて行って!!」ワン子は私が帰って来たと勘違いして外に飛び出してしまったのです。信じられなかった。なんで?どうして?目の前で横たわって苦しげに無意識に鳴き叫んでいるワン子...「痛いよー痛いよー助けてー」と言ってるかのように...。涙でその姿がよく見えなくて...。診察の結果は最悪!!「今、生きているのが不思議なくらいです。脳挫傷に複数の骨折etc...今夜が山です。」そして懸命な救命処置をして5時間後、私の小さなかわいいワン子は息を引きとったのです。生まれつき心臓が強かったらしく、そのおかげで長生きできたのに、私たちのせいで、自由にさせていたせいで...。いつかは別れが来るのはわかっていたけど、こんなにもかわいそうな別れになるとは思っていませんでした。もっと安らかに「幸せだったよ、ありがとう。また会おうネ」と言いたかった...でも「ごめんね、ごめんね!心も体も傷つけて、ごめんね。」が最後の言葉でした。『絶対うちの子は飛び出さない』と変な自信を持っていました。それがワン子にとって最悪の結果になってしまいました。皆様に伝えたかった事は、信頼しても良いけど信用しないで欲しいのです。よく見かけます、ノーリードで信用しきった散歩の姿。「あっ、あの子ども危険と背中合わせで散歩してる...」と感じます。万が一の事を考えて、いつも安全な楽しい日々を過ごして欲しいのです。今でも聞こえてきます。「痛いよー助けて、いつもそばに居てよー」と...。私のような悪い飼主にならないでください。この文を読んでも「うちの子は大丈夫」と思っている方もいらっしゃると思いますが『絶対大丈夫』はありえないのです。だって、うちの子がそうだったのですから。

最後に、いとしいワン子へ

ごめんね...傷つけて...ワン子の心の叫びを皆に伝えたよ...いっぱいの人に伝わるといいね...
許してね、そしてありがとう!!

あなたは犬の散歩中リードをつけますか?

必ずつける 60%
場所によってつけない 10%
つけない 30%

あなたの猫は一人で外に出ますか?

出ない 60%
出たくないがでてしまう 5%
出る 35%

2004年かだ動物クリニック来院患者さんに行ったアンケート結果

まもなく雨の季節。とっても憂鬱な毎日。そして、ワンちゃん・ネコちゃんにとっても退屈でストレスがたまります。台風がきて、暴風・雷・大雨・・・と、ものすごい音にブルブル・ビクビク。中にはパニックを起こして失禁や逃亡してしまう子もいます。こんな最悪な季節を、ペットの心を癒し、少しでも楽に過ごせるように『フラワーエッセンスレメディー』なんていかがですか? マイナスの感情「虚脱感・逃避・あきらめ・他人の影響を受けやすい・自信がない・恐れや悩み・わがまま・ごまかし・激情」などを癒し、楽しく暮らしていけるようにする花療法です。副作用も無く簡単に動物には効果が出やすいので、おすすめです。特に、雷や大きな音を怖がる、なんかイライラして落ち着かない、自分の体をしきりに舐めたり傷つけるなどの犬猫に使用して高い効果が出ています。38種類の中から性格や状況に合わせたレメディーを選び、食事や飲み水に混ぜて飲ませるだけ。生き物すべてに使用できる事が出来ますので、飼主さんも一緒に使用してみるのも良いでしょう。38種類からの選択や使用方法など、レメディーについて詳しくお知りになりたい場合は当院スタッフにお尋ねください。



血液検査シリーズ ALT

ALT(アラニンアミノトランスフェラーゼ)は肝細胞の細胞質内に豊富に含まれている酵素で、肝臓の疾患の指標として用いられています。

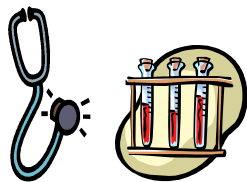
ALTは主に肝臓の細胞が障害された場合に漏出し、血液中の濃度が上昇しますが、半減期が犬で61時間、猫で3.5時間と短いため、ALTの上昇はすぐ前の肝細胞の障害を示しています。また、ALTの上昇の程度は障害を受けた肝細胞の数に比例しているため、ALTの上昇の程度は障害を受けた肝臓の範囲を表していると言えます。

ALTが上昇する原因

ALTが上昇する疾患は数多くあります。肝硬変、犬伝染性肝炎、胆管肝炎などの肝疾患の他にも、交通事故、低酸素、中毒、肝臓の腫瘍、敗血症、急性膵炎など様々な疾患があります。また、治療に必要な薬物で上昇する事もあります。例えば、自己免疫性の疾患やアレルギーなどの治療に使用されるステロイドやてんかんの治療に使用されるフェノバルビタールなどです。そのほか、いくつかの薬剤でALTの上昇が知られているので、使用する場合は定期的に血液検査をしてALTを含め、必要な項目をチェックしていく必要があります。

ALTが減少する原因

ALTが減少する疾患はあまり多くありません。肝硬変で肝細胞の破壊が既に鎮静化した場合や、シャントなど肝臓が萎縮してしまった場合などでALTが低値になることがあります。以上、述べたようにALTは肝臓の指標として用いられますが、一項目だけでは診断がつきません。その他の項目と総合的に判断し、必要であれば詳しい検査へと進んでいきます。



狂犬病集合注射を終えて…

院長 加田

今年も大変な狂犬病集合注射が終わりました。集合注射とは、市内の開業獣医師が当番で市内各地の公民館や公園などで行う、狂犬病の予防注射です。何が大変かと言うと、ほとんどがあまり動物病院に行った事が無いワンちゃんなので、なかなか大人しく注射を打たせてくれません。その上、病院と違い、たくさんのワンちゃんが一度に集まり、興奮して落ち着かなくなっているのを、飼主さん自身が抑えなくてはいけないので大変なのです。多く集まるところでは1時間に100頭近く接種します。中には、ワンちゃん同士が喧嘩をしたり、飼主さんと獣医師が喧嘩腰になったり…飼主さんもワンちゃんも獣医師も、それはそれは大変な思いをします。この時期が来ると憂鬱になります。狂犬病の集合注射では毎年1人くらい、獣医師が犬に咬まれているようです。僕も過去に2度ほど咬まれた事があります。飼主さんがご自分の犬を怖がり、注射を打った瞬間、抑えている手を離してしまった為です。当然、ワンちゃんは注射をした手にガブリ！！(大抵はうまく逃げるのですが…)注射針でワンちゃんの口に怪我をさせなくて良かったです。当の手を離れた飼主さんは「咬まれたあんたが悪い。あんた獣医でしょ」と言わんばかりに帰っていかれました。病院で注射をする場合はスタッフも慣れていますが、またスタッフを信用しているので、安心して注射を打つ事が出来ますが、集合注射では信用できない(失礼!)飼主さんが抑えているワンちゃんに注射を打たなければならないので、命がけ(ちょっとオーバー!)です。大牟田市の狂犬病予防注射料金は病院でも集合注射でも同じです。病院では健康状態の確認をきちんと行い、よほど人見知りでない限り、スタッフが抑えますので安全に注射する事が出来ます。あえて集合注射に行く必要はないと思いますが、お時間的な都合で集合注射に行かれる時は、ご自分のワンちゃんは責任もって、しっかりと抑えてあげてください。

待合室のテーブルの上に“ワンちゃんと一緒に楽しめるスポット紹介”ファイルが置いてあります。「ここ行った事ありますよ!」「最近増えましたね」と飼主さん同士で話している風景を目にします。梅雨が明けるとお出かけ日和!!ワンちゃんと一緒ににお出かけしてみませんか?ただ、ペットOKのスポットが増えワンちゃんとお出かけを楽しむ人も増える一方で、マナーを守れない人の多さにワンちゃんの出入りを禁止する所も増えている事実をしっかり受け止め、各場所での最低限のマナーを守って行動しようね。そして、楽しいお出かけがワンちゃんにとってストレスにならないように…。知らない場所へ行って、知らない人にたくさん会うのが楽しみの一つ。でも、それがストレスになる子が居る事も忘れないでください。飼主さんはワンちゃんの様子をよく観察してあげましょう。ワンちゃんの安全を守るのは飼主さんの義務。予期せぬハプニングも起こりがちなので、ゆとりあるスケジュールを立て、万全の準備で!『行かなければ良かった』ではなく『行って良かった。また行こうね』と思えるようなお出かけにしようね!

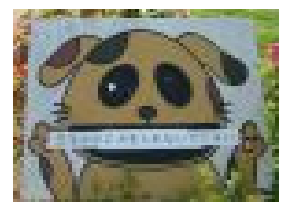
お出かけ必携アイテム

いつものお散歩バッグ

- (ウンチ袋、ペットシート、消臭剤、ウェットティッシュ、ご褒美、食器、水、オモチャ)
- タオル(少し多めに)
- 迷子札(首輪などにしっかり付けよう)
- ワンちゃん用の洋服

泊まりなら・・・

- フード
- ケージやベッド
- ワンちゃん用トイレ
- 粘着ローラー



* 事前に近くの動物病院を調べておくと安心。 救急箱を用意しておくと便利。